

--	--	--	--

私立大学の地域貢献に関するアンケート調査

日本私立大学協会附置私学高等教育研究所

「私立大学の地域貢献に関する研究プロジェクト」

プロジェクトリーダー：大澤 清二（大妻女子大学）

本研究プロジェクトは、日本の私立大学において取り組まれている種々の地域貢献の実態を明らかにすることを目的としています。大変お手数をおかけいたしますが、以下のアンケートにお答えいただき、**2019年6月21日までに**同封の封筒にてご返送いただくか、Web フォーム (<https://jp.surveymonkey.com/r/cerriihe>) よりご入力くださいますようお願いいたします。

本調査結果は、統計的に処理を行い、活用・公表の際には大学名等の個別情報が含まれるような情報の公表等は一切行いません。また、調査票は情報の流出等がないよう厳重に保管し、本プロジェクトでの分析等が終了した時点で適切に廃棄いたします。ご回答いただいたすべての大学に調査報告書を送付すると共に、本研究所の Web ページでの公開やアルカディア学報への掲載、学会発表等の学術研究にのみ使用いたします。

なお、本調査表では特に指定がない限り、**2018年5月1日時点でのデータ**を記入ください。

I 地域貢献活動の実施状況と支援体制

Q1. 貴学では、地域貢献に関する専門の部署やセンターを設置していますか。該当するもの一つに○をつけてください。また、「1. 設置している」場合は、部署やセンターの概要をご記入ください。

(1) 部署やセンターの設置状況

1. 設置している 2. 設置していない

(2) 部署やセンターの概要

①設置年度：西暦_____年
②部署やセンターの名称：_____
③所属教員数：常勤_____人 非常勤_____人
④所属職員数：常勤_____人 非常勤_____人
⑤予算額（2018年度の事業費等／人件費は除く）：_____万円
うち外部資金の金額（外部資金を有する場合のみ）：_____万円

Q2. 貴学では、自治体、企業、関連団体等とどの程度協定を結んでいますか。2018年度時点で有効な協定の総件数と、そのうち2018年度内に活動実績のあった件数をご記入ください（該当するものがない場合には0をご記入ください）。また、協定の中で活発な事例を3件までご記入ください。

(1) 協定の件数

	国及び 都道府県	市区町村	企業	NPO等の 関連団体	その他
①2018年度時点で有効な協定の件数	件	件	件	件	件
②2018年度内に活動実績のある協定の件数	件	件	件	件	件

(2) 活発な事例 (3 件まで)

協定の名称	協定の締結先	活動の概要
①		
②		
③		

Q3. 貴学では、以下に該当する地域活動をどの程度実施していますか。2018 年度内に活動実績のあった件数をご記入ください (該当するものがない場合には 0 をご記入ください)。

(1) 講演会・シンポジウム・フォーラム開催	件
(2) エクステンション・公開講座	件
(3) 幼小中学生向けプログラム	件
(4) 高校生向けプログラム (オープンキャンパス・学生募集活動除く)	件
(5) 児童・生徒以外を対象とした出前講座開催	件
(6) キャンパスを利用した大学が主催・共催のイベント開催	件
(7) 学術的な展覧会 (企画展示等)	件
(8) 外部の団体への施設の貸し出し	件
(9) その他	件

Q4. 貴学では、在籍する教職員が大学の所在地と同一都道府県内の行政機関や審議会等へ参加していますか。参加している場合には延べ人数をご記入ください (参加していない場合には 0 をご記入ください)。

(1) 都道府県の行政機関や審議会等	人
(2) 市区町村の行政機関や審議会等	人
(3) 同一都道府県の行政機関の主催する講演会等	人

Q5. 貴学では、どの程度同一都道府県の課題の解決に関わっていると思いますか。該当するもの一つに○をつけてください。また、特に深く関わりがある項目があれば、以下の欄にその問題の主題をご記入ください。

(1) キャンパスと同一都道府県の課題への関わり

1. ほとんど関わっていない 2. あまり関わっていない 3. 少し関わっている 4. よく関わっている

(2) 特に深く関わりのある項目

--

Q6. 貴学では、地域貢献のニーズや要望を把握するためにどのような取り組みをしていますか。以下の対象に対して、該当する方法すべてを下記の選択肢から選び、その番号をご記入ください。

(例) 学生や保護者のニーズや要望に対して	1・4・6
(1) 同一都道府県内の行政機関のニーズや要望に対して	
(2) 地域の自治会や町内会のニーズや要望に対して	
(3) 商工会議所のニーズや要望に対して	
(4) 同一都道府県内の企業のニーズや要望に対して	
(5) 実習受入れ先のニーズや要望に対して	
(6) 学生や保護者のニーズや要望に対して	

上のニーズや要望に対して以下のどの取り組みをしていますか：

1. 協議会や連絡会議	2. 人事交流	3. 質問紙やインタビューによる調査	4. 懇談会
5. 教職員個々人のやり取り	6. インターネットや Web サイト等の設置		
7. その他	8. 特に取り組みをしていない		

Q7. 貴学において、地域住民等に対して開放している施設・設備はありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 図書館	2. 食堂・レストラン	3. 美術館・博物館・資料館	
4. 教室	5. スポーツ施設	6. 講堂・記念館	7. チャペル・礼拝施設
8. 保健センター・保健室	9. 大学所有の宿泊施設・研修施設		
10. その他 ()

Q8. 貴学では、大学スポーツの振興のためにどのような取り組みをしていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 初等中等教育機関に対し、スポーツ活動に関する学生の派遣を行っている	
2. 在学生に対し、地域のスポーツイベントや大会へのボランティア参加を促す取り組みがある	
3. 地域のスポーツクラブ等との連携を行っている	
4. 地域住民に対し、大学スポーツの観戦やボランティア等を促す取り組みをしている	
5. スポーツ教室や健康・体力づくり教室等を通じ、地域住民等に対しスポーツと関わる機会を提供している	
6. その他 ()

Q9. 貴学の **2015 年度入学生**について、大学の所在地と同一都道府県内/県外の高等学校等の出身者数をご記入ください。また、**回答できる範囲**で地域別の状況についてご記入ください。

(1) 大学の所在地と同一都道府県内		人
(2) 大学の所在地と異なる都道府県		人
(うち大学の所在地と隣接する都道府県)		人
北海道	北海道	人
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	人
北関東	茨城・栃木・群馬	人
南関東	埼玉・千葉・東京・神奈川	人
甲信越	新潟・山梨・長野	人
北陸	富山・石川・福井	人
東海	岐阜・静岡・愛知・三重	人
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	人
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	人
四国	徳島・香川・愛媛・高知	人
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	人
(3) その他 (国外の高等学校等)		人
2015 年度入学生合計 (1)+(2)+(3)		人

II 地域貢献と学生生活・学生の学び

Q10. 貴学では、学生の住居インフラの整備についてどのような仕組みを持っていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 学生寮の設置 (自大学等所有)	2. 学生寮の紹介 (民間企業等所有)
3. 大学による賃貸物件の斡旋	4. 不動産仲介業者との提携・紹介
5. 空き家を活用した住居の提供	6. その他 ()
7. 該当なし	

Q11. 貴学では、学生の地域貢献活動をどの程度推進・推奨していますか。該当するレベルの数値に○をつけてください。

よく 推進している	1	2	3	4	5	6	7	ほとんど 推進していない
--------------	---	---	---	---	---	---	---	-----------------

Q12. 貴学では、地域貢献をテーマにした具体的な学習活動をカリキュラムに組み込んでいますか。該当するもの一つに○をつけてください。

1. 全学で必修 2. 全学で選択 3. 一部の学部のみで必修 4. 一部の学部のみで選択 5. 該当なし

Q13. 貴学では、在学生のボランティア活動に対し、単位認定を行っていますか。該当するもの一つに○をつけてください。

1. 全学的に単位認定 2. 一部の学部のみで単位認定 3. 単位認定をしていない

Q18. 貴学の2018年度卒業生（留学生含む）の就職先について、大学の所在地と同一都道府県内／県外の区分からその実数をご記入ください。また、回答できる範囲で地域別の状況についてご記入ください。

		卒業生全体	(うち留学生)
(1) 大学の所在地と同一都道府県内		人	人
(2) 大学の所在地と異なる都道府県		人	人
(うち大学の所在地と隣接する都道府県)		人	人
北海道	北海道	人	人
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	人	人
北関東	茨城・栃木・群馬	人	人
南関東	埼玉・千葉・東京・神奈川	人	人
甲信越	新潟・山梨・長野	人	人
北陸	富山・石川・福井	人	人
東海	岐阜・静岡・愛知・三重	人	人
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	人	人
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	人	人
四国	徳島・香川・愛媛・高知	人	人
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	人	人
(3) その他（国外の企業等）		人	人
2018年度卒業生合計（就職しなかったものも含む。）		人	人

Q19. 貴学では、同一都道府県内企業への人材供給を促すための方策として、取り組んでいることはありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 同一都道府県内企業と提携してインターンシップを実施している 2. キャリア関連のイベントを同一都道府県内企業と共催している 3. 同一都道府県内の就職先を探すための委員会や組織を持っている 4. 同一都道府県内の行政機関や企業団体と連携して就職先を提供している 5. その他（) 6. 該当なし

Q20. 貴学では留学生を対象とした企業への就職を支援する制度や仕組みを有していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 留学生向け就職相談専門スタッフの配置 2. 留学生向けインターンシップ制度 3. 教職員による留学生向けの就職先を開拓する委員会の設置 4. 留学生向け就職講座の実施 5. 地元企業に重点を置いた留学生向け就職相談会やマッチング 6. その他（) 7. 該当なし
--

IV 企業との連携

Q21. 貴学では、地場産業や同一県内企業へどのような支援活動を実施していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 商品やサービスの輸出入の支援	2. 大学名等を活用したブランディング
3. 商品やサービスの開発や製造の受託	4. 大学の斡旋によるアルバイト等の人材供給
5. その他 ()	
6. 該当なし	

Q22. 貴学では、2018年度に企業等との共同研究や受託研究を行っていますか。また、その中で大学の所在地と同一都道府県内の企業等との共同研究や受託研究を行っていますか。合計件数と金額をご記入ください（行っていない場合には「該当なし」に○をご記入ください）。

	件数	金額	該当なし
(1) 共同研究	件	万円	
(うち同一都道府県内)	件	万円	
(2) 受託研究	件	万円	
(うち同一都道府県内)	件	万円	

Q23. 貴学では、大学の所在地と同一都道府県内の素材の活用や、企業等との連携など、地域連携を通じて開発された商品やサービス等がありますか。該当するもの一つに○をつけてください。また、「1.ある」場合は、その件数と主たる商品等の名称・概要を3件までご記入ください。

(1) 1. ある（商品・サービス等の件数：_____件） 2. 該当なし

(2) 主たる商品やサービス（3つまで）

商品等の名称	商品等の概要
(例) クッキー・ケーキ	地元企業と連携して、学生がデザインしたクッキーやケーキを販売している。
①	
②	
③	

Q24. 貴学では、特許を取得したビジネスを実施していますか。該当するもの一つに○をつけてください。「1.ある」場合は、累計件数をご記入ください。

1. ある（累計件数：_____件） 2. 該当なし

V 地域貢献に対する考え方・姿勢について

Q25. 貴学では、大学における「地域貢献」とはどのような内容が含まれていると考えていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 自治体等との協定の締結	2. 在日外国人への教育支援	3. 公開講座等の実施
4. 学外での講演会等の講師	5. 初等中等学校等との連携・協力	6. 大学施設・設備の開放
7. 社会人入試などによる社会人の受け入れ	8. 科目等履修生などのパートタイム学生の受け入れ	
9. 地域の問題等を反映した研究・開発	10. 地元企業との共同研究・共同開発等	
11. 地域ニーズに合わせた学部・学科等の設置	12. 学生の地元行事やボランティア活動への参加	
13. 地方自治体（都道府県や市区町村）の委員や役員等への教員の派遣		
14. 地域住民に対するボランティア活動の機会	15. 地域に根差した活動	
16. 地域外も含む社会全体への貢献		
17. その他（		）
18. 大学のポリシーとして、地域貢献や地元定着をしない方針を持っている		

Q26. 貴学では、「地域貢献」を大学の業務として、どの程度重要なものだと考えていますか。該当するレベルの数値に○をつけてください。

とても重視している	1	2	3	4	5	6	7	まったく重視していない
-----------	---	---	---	---	---	---	---	-------------

Q27. 貴学では、「地域貢献」を現状どの程度実施できていると考えていますか。該当するレベルの数値に○をつけてください。

とてもよくできている	1	2	3	4	5	6	7	まったくできていない
------------	---	---	---	---	---	---	---	------------

Q28. 貴学では、教職員や学生等が行う地域貢献活動をどの程度把握していますか。それぞれ該当するものに一つに○をつけてください。

	よく把握している	すこし把握している	あまり把握していない	ほとんど把握していない
教職員が行う地域貢献活動	1	2	3	4
学生が行う地域貢献活動	1	2	3	4

Q29. 貴学として地域貢献活動を実施する際に、課題となっていることはありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 大学側の人手・人材が不足している	2. 大学に地域連携を推進する担当窓口／部署がない
3. 妥当な連携先がみつからない	4. 地域との連携の効果が実感できない
5. 地域との連携の意義が学内に浸透していない	6. 多忙等を理由に教員の協力が得られない
7. 人事評価に反映されないことを理由として教員の協力が得られない	
8. 連携のための予算が確保できない	9. 連携協定を締結しているが形骸化している
10. その他（	）

Q30. 貴学において、三つの役割である教育・研究・社会貢献はそれぞれの程度重視されていますか。合計を 100%とした時の貴学のリソース（人員や予算等）の現在の配分状況と貴学が理想とする配分状況をご記入ください。

	教育	研究	社会貢献	合計
(1) 現在の配分	%	%	%	100 %
(2) 理想とする配分	%	%	%	100 %

Q31. 貴学において、教員に対する評価や人事査定において、地域・社会貢献活動をどの程度評価項目として考慮していますか。該当するものに一つに○をつけてください。また、「実施している」場合には、考慮の度合いとして該当するものに一つに○をつけてください。

(1) 実施対象

1. 全学 2. 一部の学部のみ 3. 一部の教員のみ 4. 実施していない

(2) (実施している場合) 考慮の度合い

1. 積極的に考慮している 2. 多少考慮している 3. あまり考慮していない 4. 全く考慮していない

Q32. 貴学では、建学の精神や理念・大学の目標、大学のミッション等と地域貢献活動との関連をどのように位置づけていますか。以下の欄にご記入ください。

(次ページに続く)

アンケートにご回答くださりまして、ありがとうございました。

最後に貴大学の 2018 年度の情報と御回答をいただきましたご担当者の連絡先並びに訪問調査の可否と調査への御意見等をご記入ください。

<p>(1) 大学について</p> <p>大学名： _____</p> <p>専任教員数：_____人 (うち外国人教員数：_____人)</p> <p>専任職員数：_____人</p> <p>学生数</p> <p>学士課程：_____人 修士課程：_____人 博士課程：_____人</p>	<p>留学生数</p> <p>学士課程：_____人 修士課程：_____人 博士課程：_____人</p> <p>社会人学生数</p> <p>学士課程：_____人 修士課程：_____人 博士課程：_____人</p>
<p>(2) ご担当者様について</p> <p>ご所属・職名：_____</p> <p>お名前：_____</p> <p>電話番号：_____</p> <p>メールアドレス：_____</p>	
<p>(3) 訪問調査の受け入れ可否について <u>(いずれかに○)</u></p> <p>1. 可</p> <p>2. 条件により可 (条件：_____)</p> <p>3. 受入れは難しい</p>	